

らびっとくらぶの理念

安心出来る居場所となり その子らしい育ちを家族と共に支える

支援方針 遊びや生活の中での経験を繰り返し本人の力として定着するよう支援する

行事

誕生日会

季節に応じたもの(お花見・水遊び・ハロウィン・クリスマスなど)

日常の活動を大切にしているため 大きなイベントはありません

質の向上

(スタッフ全員)

全体ミーティング月二回

事業所内研修 年6回程度

PDCAシートによる振り返り

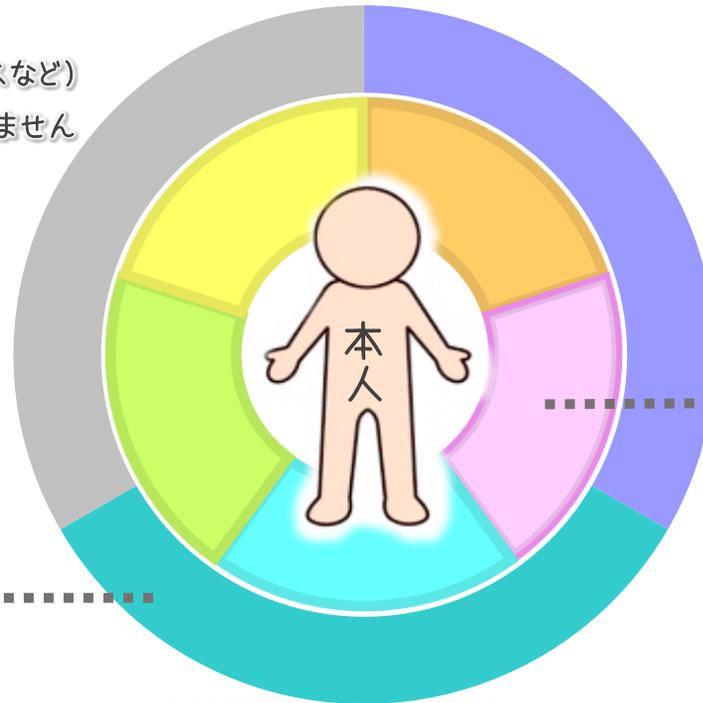
(常勤スタッフ)

常勤ミーティング月四回

外部研修月一回程度

(その他)

各自資格試験受講 全額補助



健康・生活

- ・それぞれの成長に応じた基本的な生活スキル(食事・排泄・衣類の脱着など)を獲得をできるように環境や方法の工夫を行いながら支援する
- ・本人が能力を発揮するために、情緒の安定を第一として環境調整(時間空間の構造化・感覚刺激の加減など)、負荷調整(心身の調子に合わせた休憩や活動の選択など)を行う

運動・感覚

- ・活動室は基本的に感覚過敏の子どもも落ち着いて過ごせるよう特に聴覚・視覚への刺激に配慮した環境設定をし、そのうえでそれぞれ感覚欲求を満たす遊びを提供する
- ・外遊びの時間を通して、筋力の強化とボディイメージの成長を促す

認知・行動

- ・それぞれ事業所内でのキーパーソンを置き、話しやすい関係の中で自分の行動を振り返る時間をとり、好ましい行動が定着できるように支援する
- ・入ってくる情報を適切に処理できるよう席の配置や周囲の環境を調整する

言語・コミュニケーション

- ・様々な遊びを用意し集団でかかわりあう楽しさや、他者との好ましいかかわり方を学ぶ機会を提供していく
- ・個別に話を聞く時間をとり、困りごとや自分の気持ちを言葉で伝える経験を積み重ねてもらう

人間関係・社会性

- ・場面に合わせたルールやマナーを意識できるように、それぞれの成長に合わせて遊びの中で考える機会を提供していく
- ・つまづきがあった場合には原因と理由を一緒に考え、自身の強みと弱みを肯定的に受け止められるよう支援する

家族支援

- ・ペアトシや認知行動に対しての指導や家庭内の環境調整(兄弟への相談援助を含む)への助言・提案
- ・保護者のメンタルケアのため対応困難な家庭への介入やレスパイト目的の預かり時間の延長支援
- ・家族の気づきや理解をサポートするための病院同行

地域支援

- ・教育、医療、行政と日常的な情報共有を行う
- ・必要であれば関係者会議を行い支援方針に関して助言指導を行う

移行支援

- ・移行先への相談援助を行い受け入れ体制づくりへの協力
- ・移行を見据えての生活リズムの調整を目的とし利用日数や時間の調整
- ・入学・進級時には情報提供を行い支援方法や方針の共有